

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年3月31日

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C		
横断的な課題	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組						
地域重点政策	地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組					松本地域振興局	
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属	松本農業農村支援センター	
事業名	風食防止対策のための緑肥作物導入推進事業				電話	0263-40-1917	
					E-mail	<a href="mailto:matsumoto-nosei@pref.nagano.lg.jp">matsumoto-nosei@pref.nagano.lg.jp</a>	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	松本南西部地域において問題となっている風食を防止する対策として、緑肥作物による冬期間の農地被覆を拡大することは、土壌の飛散防止に加え、野菜生産における化学肥料施用量の削減につながる。優良農地の保全と、農家の肥料費の削減により、産地の維持発展を目指す。					
	現状と課題	松本南西部地域において、春先の強風により冬期間作付けがされていない農地から土壌が飛散することにより、優良な耕作土の亡失、農作物への砂の混入等農業生産への影響に加え、周辺道路や住環境など近隣住民の生活面にも影響を及ぼしている。この対策として、これまで麦類の播種による農地被覆を中心の普及啓発を行ってきた。令和4年度からは、さらなる対策の拡大を目指し、麦類以外のヘアリーベッチ、ハゼリソウなどの緑肥作物について、野菜花き試験場・JA・市村等の関係機関と共に導入を進めている。地域農業者の緑肥作物導入に当たり、後作に合わせた品種選択、播種適期等の栽培技術習得が課題となっている。					
	内容 (変更後の内容)	(1)研修会の開催 緑肥作物展示ほ場と作成するリーフレットを活用し、地域農業者向けの研修会を行う(2回)。 7月:緑肥作物の減肥効果確認(朝日村、スイートコーンほ場)と秋の播種に向けた研修会 3月:野菜花き試及び地域内展示ほ場等の成績についての情報提供と、展示ほ場(すき込み直前)の現地研修会 (2)風食防止対策のための緑肥作物導入啓発資料の作成・配布 市村・JA等の協力により配布、啓発活動を行う					
事業期間	令和7年4月			～	令和8年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	(1)研修会の開催	・地域農業者向けの研修会実施 ・導入啓発資料及び技術資料作成	286,220	【導入啓発資料作成】 A4両面カラー 1,100部 1,100部×@90.2円(税込)=99,220円  【技術資料作成】 A3カラー二つ折、2,000部 2,000部×@85円×消費税=187,000円 (令和6年度に風食協議会で作成したリーフレットを増刷)			
			10,699	【導入啓発資料増刷(庁内コピー機)及び会議資料印刷】  A4両面カラー 300部=6,930円(コピー料金5,478円 用紙代1,452円) A4両面白黒 500枚=3,769円(コピー料金1,322円 用紙代2,447円)  ※不足金額は所属負担 <参考> コピー料金 白黒 @1.32円/1枚 カラー @9.13円/1枚 用紙代 2,420円(税込)/500枚(1箱)			
(2)展示ほ場の設置	・展示ほ場の設置	67,081	【播種機購入】 手回し散粒機(播種作業用) 散田2台×@10,000円=20,000円 ごんべえ部品 リンクベルト0720032 1個=3,050円  【緑肥種子購入】 合計50a分 ヘアリーベッチ30a分18Kg 13,167円(藤えもん@1,463円) 12,816円(しげまるくん@1,424円) ハゼリソウ20a分6Kg 18,048円(アンジェリア@3,008円)				
合計			364,000				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	地域農業者向けの研修会の参加人数		70名以上	67名	○ 達成		
	地域農業者向けの研修会の開催回数		2回	2回	● 一部達成		
啓発用展示ほ場の設置		1か所	1か所 (朝日村)	● 未達成			
事業実績・成果	<p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農業者向けの研修会を7/28(38名参加)、3/11(29名参加)の2回開催した。研修会資料等に活用する啓発資料としてリーフレットを作成した。リーフレットは、関係するJAと市村農政担当課へも配布し該地域の農業者へ広く配布した。</li> <li>・啓発用展示ほ場を朝日村に設置した。3/11の研修会時には、緑肥作物のほ場被覆の様子を農業者等が直接観察することが出来た。展示ほ場の設置により緑肥作物の生育データ等を収集した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会参加人数前年比は96%だった。目標値に達しなかったのは参集範囲を令和6年度のJA技術員など関係者中心から令和7年度は農業者中心としたことによるものと考えている。実際に対策を行う農業者に直接の対策について研修していただいたことは今後の対策の広がりにも有効であるため今後も継続実施していく。</li> </ul>						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風食防止対策の拡大に向け農業者に向けた研修会を継続して実施する。</li> <li>・これまでの活動の中で集めた現地事例を活用したより有効な対策の拡大のため、事例集を作成し啓発活動を実施する。</li> </ul>						